



東六小 支援本部だより

令和5年度 no4

発行：東六番丁小 学校支援地域本部

事務局 TEL022-222-4216 (学校)

070-1287-7996 (支援本部)

sendai_gako_sien001@softbank.ne.jp

北校舎1階 学校支援地域本部室/鹿野

～ 宮町をおうえんし隊！！ ～



3～4年生の総合的な学習の時間では、自分たちの住む宮町を盛り上げるために仙台・宮町七夕について調べたり地域の方の話を聞いたりして、学びを深めています。6月には宮町商店街振興組合の佐藤広行理事長と、宮町でスムージー店を開いている武田穰さんをお招きし、七夕や東照宮をはじめとした地域行事のことや宮町への思いなどをお話いただきました。

佐藤さん

七夕は中国の伝説が由来といわれています。

仙台七夕は昭和2年から始まり戦争で一時中断しましたが、昭和21年に復活し今に続いています。鶴、吹き流し、短冊、巾着、投網、紙衣、屑籠の七つ道具のほかに「七夕線香」という飾りもあり、お盆の行事と関係しているんだね。昔は宮町の道路いっぱい竹飾りがあり、バンドのパレードや夜店が出たりしていたんだよ。今の宮町では30本ほどの竹飾りとお店の中に飾るものも合わせて50店くらいが飾り付けをして盛り上げてくれています。七夕を通して人とのつながりや作る喜び、教えあう喜びを大事にしてほしいです。



武田さん

宮町には銀行、郵便局、スーパー、観光など生活に必要なお店が多く集まっているね。また、東照宮は全国にあるけれど「東照宮駅」はここだけだそうです。東照宮が起源の宮町を、あいさつが飛び交う町にしたい、コミュニケーションづくりのきっかけとしてポケモンカードバトルなどのイベントやお祭りで盛り上げ、安全安心な町にしたいと思っています。



佐藤理事長は「伝統は人から人じゃないと伝わらない」とおっしゃっていました。また5名の保護者の皆様にもご協力いただき3～4年生も七夕飾りを作りました。「飾りや紙がきれい！」「作るのが楽しい！」という子供たち。昨年も作った4年生と初めて作る3年生が宮町を盛り上げるべく頑張りました。

8月6日～8日は宮町通りでも七夕飾りが見られます。

七夕まつりへの参加は東六小の伝統になりつつあり、東六小の飾りは例年「花さいだん付近」に飾られます。ご家族でのんびり歩きながら見つめてみてはいかがでしょうか？

